

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3月7日	1	啓明会 丸戸研二	1、これからの10年に向けて	(1)若者が住みやすい地域 ・世代を超えた共感と市民力 (2)コンパクトシティではなく田園都市へ ・考え方と現実 (3)三豊鳥坂インターチェンジのフルインター化の進捗とスケジュール (4)瀬戸内国際芸術祭2016の市内での経済効果の見積もり (5)環瀬戸内経済・文化交流ネットワークと拠点化への取り組みについて
			2、産業振興と雇用創出	(1)農業振興は地域振興という認識で (2)農業振興対策基金の運用は特徴ある事業に (3)田園・里山資源を地域間交流に生かせられないか (4)地場産業の振興と企業立地 (5)より広い分野で地産地消を
			3、自然との共生	(1)バイオマス資源化センターみとよ (2)竹資源の事業化
			4、支所の市民センター化	市民の多様な活動の場として
			5、大久保護之丞と三豊	具体的構想は
	2	みとよ新政会 瀧本文子	平成28年度施政方針より 1、産業・雇用	(1)「若い世代、特に若い女性たちが生き活きと活動できるまちを目指します」とある。どのような取り組みを考えているのか。 (2)「“地域おこし協力隊”を広く募集し、外からの新しい感性を加えて、活性化を図り」とある。どのような取り組みを考えているのか。
			2、環境・生活	水道事業について「水道施設や水道管の更新、施設の耐震化を計画的に実施し、中央監視システムを豊中町浄水場に整備します」とある。その計画内容について伺う。
			3、安全・安心	「三豊市災害対応マニュアル」の策定の取り組み、地域防災力の強化に向けた取り組みについて伺う。
			4、医療・健康・福祉	人口減少対策として、子育て支援は最重要課題としている。待機児童ゼロに向け、保育士確保対策の計画について伺う。
			5、教育・文化	(1)学校図書指導員は、3名から6名体制への拡充が提案されている。今後の学校図書館充実に向けた取り組みについて伺う。 (2)市内7図書館の在り方を検討する「三豊市図書館再編基本計画」の策定について、どのようなビジョンを考えておられるのか、伺う。
			6、人権・住民自治・行財政	(1)市民と力を合わせて、「量の行革」から「質の行革」への転換、「管理重視の行政運営」から「地域経営型の行政運営」へ転換を図る、とある。市民にわかりやすく説明をお願いしたい。 (2)「公共施設等総合管理計画」を定め、統廃合・機能の複合化を推進し、解体・撤去は合併特例債の積極的活用を図る、と提案された。計画の内容等、どのような取り組みをお考えなのか、伺う。
	3	明政クラブ 詫間政司	1、積極的な民間活力の導入について	施政方針において、公有財産や公共サービスへの積極的な民間活力の導入等、徹底した未来志向のまちづくりを進めるとあるが、どのような事業をもって展開するのかを問う。
			2、「社会的包摂政策」における「市民センター」化の目指す方向性について (地域包括ケア拠点として)	「一億総活躍社会」推進の中で、「社会的包摂政策」が記されている。三豊市は、施政方針においてコンパクトシティを目指さないことにより、支所の行政機能と市民活動拠点としての役割への期待を示している。より市民生活に密着し、日常的に市民に寄り添う、支所の「市民センター」化が求められていると思う。どのような「市民センター」化を目指すのか、方向性を問う。
			3、「社会的包摂政策」における「市民センター」化の目指す方向性について (子育て・若者支援相談拠点として)	今後構築すべき「市民センター」化は、地域包括ケアシステム拠点としての役割と併せ、より市民生活に密着し、日常的に市民に寄り添う、子育て・若者支援相談拠点としての役割の期待は大きいと思う。子育てに悩む保護者への傾聴や、生きにくさを感じる若者への支援等、細やかな対応ができる機能を「市民センター」化の中で検討してはどうか。考えを問う。
			4、「新公立病院改革プラン」について	施政方針において、県が策定する「地域医療構想」を見極めながら、「新公立病院改革プラン」の策定をするとあるが、現医療圏における背景とプランの全体像を問う。

発言通告書の要旨(代表質問)

平成28年第1回定例会

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨	
3月7日	4	七宝会 為広員史	1、観光振興について	アジアの時代の具体的な観光振興について聞く。	
			2、行財政改革について	合併後10年が経過し第2次行革に取り組むとあるが、部や課の統廃合についての考えを聞く。	
			3、財政改革の面から考えた幼稚園の統合について	山本4幼稚園の統合によって経費や職員数の推移を聞く。	
			4、商工業振興について	具体的な奨励措置や支援情報の発信を聞く。	
			5、小学校の跡地利用について	今後発生する曾保小学校・大浜小学校・松崎小学校他、豊中5小学校・高瀬5小学校・三野3小学校の跡地利用を聞く。	
	5	社民党 三木秀樹	1、過去を吹き飛ばし、未来に向かって断行とは(施政方針①)	「過去の執着する引力を吹き飛ばし」とか、「過去の引力にひるまず」、「未来に向かって断行しなければ」とは、現在安倍政権が進める憲法を変えてでもやろうとしている「戦後レジームからの脱却」の主張に類似しているとも思えるが、その真意は何か。	
			2、新たな農業振興対策基金[1億円]について(施政方針②)	TPPに対し即効性のある対応のため「農業振興対策基金」を新たに積み立てるが、過去の「農業振興対策基金3億円」の成果・課題の評価もなく、TPPのどの分野の「何に、どのように、いつ実施か」明らかにしていない。前回の成果等と今回の基準を聞く。	
			3、新公立病院改革プランの策定について(施政方針③)	「新公立病院改革プランの策定」は、3年前の市立病院あり方検討委員会の「答申」および永康病院の老朽化に伴う耐震化も考慮したものなのか。プランの策定の背景を聞く。	
			4、「職員の総人件費の削減」のセーフティネットを聞く(施政方針④)	今回も「職員の総人件費の削減」方針となっているが、過去10年間の量的行政改革によって、職員の人員不足から派生する問題を公表し、12月議会でも質したが、その予防対策の予算は計上しているのか。	
			5、コミュニティバスの市民ニーズについて(施政方針⑤)	バスの運行を「市民ニーズに応じ検討する」となっているが、懸案の善通寺市にある「四国こどもとおとなの医療センターへの乗り入れ」の要望の声は、免許証返上者も含め多く市民から届いていると思うが検討しているのか。	
			6、「市民センター」のプライバシー保護等について(施政方針⑥)	「市民センター」化の推進がうたわれているが、監査委員が「指摘する」プライバシー保護等の対策は予算化しているのか。	
			7、市内全公民館の「使用料の条例」化の課題について	今回の公民館「使用料」の条例化は、使用している市民に何の説明もない。使用料金設定後は、公民館条例の第12条(使用料の減免)で対応すると聞くが、この12条は「特例条項」であり、条例設定で「特例条項」が「主で」その他の条項を「従とする」条例でいいのか。時間が経過すれば、「主従が逆転」する可能性が大である。第12条の適用でなく、第11条の2項の要綱か規則に「免除」を明記すべきと思うが、どうか。	
	3月8日	6	公明党 込山文吉	1、中山間地域振興条例について	市長は、施政方針の中で、アンチ・コンパクトシティを表明されているが、その思いとは逆に、現実の事業では選択と集中を理由としたコンパクトシティ化を進めている。市長が指摘しているとおり、田園都市を目指すには、合理性に欠ける弱点があり、それを補うのが市民力としている。市民力をさらに高め、三豊市の地方である中山間地域に活力を与え、活性化を進めるためにも中山間地域振興条例の制定が必要と考えるが、市長の考えを聞く。
				2、障害者差別解消法について	4月より障害者差別解消法が施行される。 ①市の取り組みと事業者への周知状況をお聞きする。 ②合理的配慮が義務化されるが、対応は進んでいるのか。 ③障害者差別解消支援地域協議会の設置の考えを聞く。
3、重点「道の駅」選定について				道の駅「たからだの里さいた」が国土交通省の重点道の駅に選定された。 ①今後、どのような発信が期待できるか。その戦略を聞く。 ②小さな拠点としての機能集約へのプランを聞く。	
4、小学校統廃合について				財田・山本小学校の統合校が完成した。 ①三豊市として初めての統合であったが、統合の評価と今後の課題を聞く。 ②今後の統廃合予定の考えを聞く。	
7		文殊の知恵 大平敏弘	1、職員のモチベーション・やる気の構築どのように	地方交付税減額と職員のモチベーション・やる気の構築をどのように考えるか。	
			2、議案33・34・35号の市民説明	地方交付税合併特例が、減額への道を歩みだす厳しい財政状況下、ボーナス給与のアップに至った背景と考えをお聞きしたい。	
			3、にお荘への1億円の市民説明	前回の答弁で、基金は三豊市民共有とする考え。一方、基金設置に至った当時の経緯等を尊重する必要があると答えている。経緯を尊重するに至った市民説明を求める。	
			4、身を切る行政改革	市長1,622万円、副市長775万円、教育長526万円の4年の退職金。利益の分配から負担の分配の市民に対し、もう取り組むべき改革と考えるが。	